

月刊 あなたにこの本を！ 平成27年4月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの()内の番号は、大阪市立図書館書誌IDです。



またがりビトのすすめ

—「外国人」をやっていると見えること—

姜 誠 著

岩波書店 1900 円
(0013362522)

ジャンル : 生き方・考え方に学ぶ

在日コリアンの著者が、国籍や民族にとらわれずに生きる「またがりビト」となるための取り組みを語る。少数派である定住外国人も社会を支える一員であることを示したいと考えた著者は、日韓共催サッカーワールドカップで定住外国人のボランティアを組織した。また、多様な文化的背景を持つ生徒のための学校作りにも奮闘する。「またがりビト」を示唆する本書は、ヘイトスピーチなどの不寛容が台頭する現代社会に、風穴を開ける可能性を感じさせる。〔316.81〕



昭和の結婚

小泉和子 編

河出書房新社 1850 円
(0013367944)

ジャンル : 歴史・文化に親しむ

結婚は戦前と戦後とで大きく変わった。本書は、移り変わる昭和の時代とともに変遷した結婚の様相について、多くの図版をまじえて多角的にとりあげる。見合いから結婚、結婚式、新婚旅行など当時のありようがよくわかる。また、戦前の婦人雑誌でよく特集されたという「花嫁の心得」は時代をよく映しており興味深い。さらに、戦争花嫁など時代特有の事柄にも触れている。昭和という時代がありありと浮かびあがってきて、歴史を深く知ることができる。〔385.4〕



聖路加病院で働くということ

早瀬圭一 著

岩波書店 2100 円
(0013287647)

ジャンル : 生き方・考え方に学ぶ

日本を代表する総合病院の一つである聖路加病院は、医療スタッフのみならず患者家族も医療チームの一員として病気に立ち向かうトータルケアを目標としている。本書では、その中で働く医師と看護師、計4人の活躍に焦点を絞り、彼らの半生も含め紹介する。訪問看護の先駆者である押川氏のエピソードでは、末期ガンの少女をその家族と共に最期まで支え、自身の無力さに悩み戦う姿が描かれる。緻密な取材により、医療に携わる4人の情熱が鮮烈に伝わってくる。〔498.16〕

深海生物捕った、育てた、判った!

—“世界唯一の深海水族館”館長が初めて明かす—

石垣幸二 著
小学館 1300 円
(0013082056)

ジャンル：知識・教養を深める

本書は、「海の手配師」として、世界中の水族館に深海生物を供給し、深海水族館の館長を勤める著者が、その捕獲、輸送、飼育方法の大変さを語るエッセイだ。なかでも生きたまま輸送することが一番難しく、試行錯誤の繰り返しだったという。インドネシアでは深海魚を捕獲するためにエサとして用意したイカを漁師に食べられ、手ぶらで帰ることになった苦労話なども紹介される。写真が多く掲載され、深海生物の世界は驚きに満ちていることも実感できる。〔481.7〕

ふしぎな国道佐藤健太郎 著
講談社 980 円
(0013321587)

ジャンル：知識・教養を深める

国道と聞くと整備された大きな道を思い浮かべるが、一部に階段や商店街、エレベーターなどがあり、車で走るには全く適さない驚きの国道が存在する。また国道番号は現在 1 号から 507 号までだが、欠番があるため実際は 495 本しかない。本書はそのような国道の面白さに魅せられた著者による「国道マニア」の入門書だ。ドライバー泣かせの「酷道」や、起点から終点まで完走するのにおすすめの路線、風変わりな国道標識など、国道についての雑学が満載の一冊。〔685〕

日本人だけが知らない「ニッポン」の観光地水津陽子 著
日経 B P 社 日経 B P マーケティング(発売)
1400 円 (0013231393)

ジャンル：知識・教養を深める

地域資源を活用した観光まちづくりをコンサルティングしてきた著者が、日本人の感覚とは違う外国人のニーズに着目し、日本の魅力を分析してまとめた。「古都と廃墟」「桜」など 11 のテーマで外国人に人気のスポットを紹介し、各地の現状と課題を分析する。廃墟ファンのみならず「アート」として捉える外国人や若者の注目を集めている軍艦島を、観光資源として活用している長崎市の事例なども紹介されている。今後の訪日観光の可能性を提示する一冊だ。〔688〕

声の世界を旅する増野亜子 著
音楽之友社 2500 円
(0013021395)

ジャンル：知識・教養を深める

民族音楽学者である著者が、実地調査や文献をもとに、世界の様々な地域での声の文化を紹介する。声は、人間が生まれながらにして、息とともに発することのできる音だ。そして声の出し方や使い方は、社会的な人とのつながりの中で形成され伝承されてきた。フィンランドの「泣き歌」、スイスの「ヨーデル」や、タイミングを合わせるための「なわとび歌」など、声の世界は多様で奥深い。生身の人間の交流によって磨かれてきた声の響きの神秘に気づかされる。〔767.1〕